

# ブルガリア月報〔10年7月〕

平成22年8月  
在ブルガリア日本国大使館

## 概観

### 【政治・社会】

・欧州委員会が内務・司法改革プロGRESS・レポートでボリソフ政権の汚職・組織犯罪摘発を評価。

### 【経済】

・経済は、輸出の好調を要因に緩やかな回復傾向に。政府は、2010年の対GDP比経済成長率は1.0%、2011年は3.8%の見込みと発表。

### 【我が国との関係】

- ・経団連ミッションがブルガリアを訪問
- ・日本・ブルガリア経済委員会合同セッション開催

この月報はブルガリア各種メディアの報道ぶり等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

## 政治・社会

### 1. 内政

#### ◆欧州委員会：内務・司法改革プロGRESS・レポートを発表

▶20日、欧州委員会はブルガリアにおける内務・司法改革のプロGRESS・レポートを発表した。同レポートは、昨年7月（新政権樹立）からブルガリアには改革気運がかつてない高まりをみせていると指摘し、刑事事件捜査に於ける資産没収手続の簡易化、汚職・組織犯罪の検挙実績が大幅に増加し、その中にはハイレベルの政府高官等が含まれていること、さらにいくつかの有罪判決も出ている（刑の確定した事案はまだない）こと等を評価している。

▶一方で利益相反（conflict of interest）防止策及び関連法令が未整備であること、公的調達実施に関する手続きについては多数の問題が存在すること、警察・検察・裁判所の能力向上が必要であること、司法システムの抜本的改革が必要であること等を指摘している。

#### ◆前首相秘文書の紛失で書類送検に（14日）

▶スタニシェフ社会党党首（国民議会議員、前首相）が7本の公的秘文書紛失で書類送検された。罰金刑が科せられる見込み。

### 2. 外政

#### ◆アンゲロフ国防相：米国訪問

（6月28日～7月2日）

▶アンゲロフ国防相は28日、ゲイツ国防長官と会談、欧州、黒海地域、バルカン、コーカサス及び中東の地域情勢、米国の欧州におけるミサイル防衛（MD）構想等、ブルガリアのノヴォセロ演習場を始めとする米国との共同軍事施設の利用拡大、両国の戦略的協力の拡大等について協議を行った。またドンリー米軍空軍長官とは米国製F16戦闘機（中古）の購入の条件等につき協議した。

◆**パルヴァノフ大統領：アゼルバイジャン訪問**（6月30日～7月1日）

▶30日、「パ」大統領はアリエフ・アゼルバイジャン大統領と会談し、両国の政治・貿易関係等につき協議。「パ」大統領は、アゼルバイジャンからブルガリアへの天然ガス輸送に係るブルガリア、トルコ、アゼルバイジャンのガス会社間の三者協議を提案した。

▶「パ」大統領は、記者団に対し、2011年を目途にアゼルバイジャンから最初のブルガリアへの天然ガス輸送を開始予定であり、ブルガリアはアゼルバイジャンから10億立方メートルの天然ガスを購入することになると表明。

◆**グエン・シン・フン越筆頭副首相：ブルガリア訪問**（6～9日）

▶7日、グエン・シン・フン越筆頭副首相はパルヴァノフ大統領及びディヤンコフ副首相兼財務相と会談し、両国の経済、貿易、科学に関する協力を拡大する協定に署名。また、外交・公用旅券所持者に対するビザ免除協定の署名に立ち会った。

=====  
**経済**

1. マクロ経済

◆**2010年修正予算案可決**

8日、国民議会は約36億8千万レバ（対GDP比3.8%）の財政赤字を見込んだ2010年修正予算案（第二読会）を可決した。歳出は約189億レバ、歳入は約152億レバが見込まれている。

◆**2011年予算案**

27日、閣僚会議は今後3年間の財政赤字の対GDP比の数値計画（2011年：2.5%以下、2012年：1.5%以下、2013年：1%以下）を了承した。なお、2011年予算案は9月末に国民議会に提出される予定である。

◆**2011年経済成長、財政赤字**

▶10日、ディヤンコフ副首相兼財務相は、ブルガリア国営ラジオにて、2011年における経済成

▶8日、同筆頭副首相はボリスフ首相と会談し、ベトナムは伝統的友好国である中東欧各国との多面にわたる友好協力関係の発展を重視しており、その中でもブルガリアの地位は重要である旨述べた。また、越EU協力パートナーシップ協定（PCA）交渉の早期妥結、及びEUによる越の市場経済国認定に関してブルガリアからの支持を求めた。

▶なお、同筆頭副首相は、1978～82年の4年間ブルガリアの大学院で研修している。

◆**パレスチナ自治政府アッパース大統領兼PLO執行委員会議長：ブルガリア訪問**

（13～14日）

▶今次「ブ」訪問は、07年に次ぐ2回目の訪問となる。パルヴァノフ大統領、ボリスフ首相及びツァチェヴァ国民議会議長（ワーキング昼食会）と会談した。

=====  
長率及び対GDP比財政赤字は、それぞれ3%、2.7%と予測した。

◆**外国直接投資**

▶22日、国連の「貿易と発展に関する委員会」は、ブルガリアへの外国投資額（30億ユーロ）におけるGDPに対する割合が、対象140カ国中、第19位であったと発表した。

◆**貿易・経常収支**

▶2010年5月末時点での輸出総額は約54億ユーロであり、昨年同時期比約22%増となった。また、輸入総額は、約67億ユーロであり、昨年同時期比13%増となった。

▶経常収支に関して、本年5月末時点では、約380万ユーロであり、昨年同時期の約3億6600万ユーロと比較し大幅に減少している。

## 2. エネルギー

### ◆RES 部門

▶19日、6月30日に欧州委員会に申請したRES（再生可能エネルギー）部門に関するブルガリアの国家行動計画が承認された。

▶計画内容は①2011年より事業による発電容量（MW）計画に対する10%をデポジットとして支払う、②2012年よりインターネットにてパワープラントの建設可能地域を検索可能にする、③SEWRC（State Energy and Water Regulatory Commission）は毎年4月に各RESの買い取り価格を確定する（ただし、昨年度価格の95%を下回らないことが条件）、④買取保証期間に関して、地熱発電については15年、太陽光を含むその他については25年とすること等。

### ◆天然ガス価格

▶17日、ブルガリアはロシアとロシアからの天然ガス購入価格につき同意した。ガスプロム社（露）とブルガルガス社（ブルガリア）間で交渉が行われ、ガス供給価格の値下げ、仲介者の排除につき合意に至った。

▶20日、SEWRC（State Energy and Water Regulatory Commission）のセメルジェフ委員長は記者団に対し、ガス価格に関して10月より現在の価格より少なくとも10%は値下げする旨発表した。

▶価格が下がる背景として、17日のロシアとの供給同意があるとともに、ドル・ユーロの為替レート下落、代替燃料の価格が安定していることがある。

### ◆米企業 AES 社の太陽光発電所建設計画

▶28日、ウォーリック駐米大使は米 AES 社がブ

### 我が国との関係

#### ◆経団連ミッション：ブルガリアを訪問

▶22日ー24日、横山、小林両共同団長が率いる日本経団連訪中・東欧ミッション（31名）がソフィアに来訪し、パルヴァノフ大統領、ボリソ

ルガリア（シリストラ）に欧州最大規模（80MW）の太陽光発電所の建設を計画していることを発表した。

▶米 AES 社側が400百万ドルの資金を用意し、ブルガリア政府へは費用負担を求めない考えであり、ブルガリア政府より回答があり次第、建設に着手する意思を表示している。

## 3. 産業

### ◆業況判断指数の改善

▶29日、ブルガリア統計局（NSI）は、7月の業況判断指数が6月と比較し、1.4%改善された旨発表した。産業部門（+2.3%）、サービス部門（+4%）は回復しているが、建設部門（-1%）、小売業部門は（0.5%）は依然として不調である。

## 4. その他

### ◆トラキア高速道路

▶14日、ギリシャの Aktor 社はノバ・ザゴラ＝ヤンボル間のトラキア高速道路建設契約を締結し、8月2日より着工することを発表した。

### ◆新車販売台数

▶11日、ブルガリア自動車製造協会ブルガリアにおける本年上半期の自動車（自家用車、バス、ローリー、バイク含）販売台数は8,998台であり、昨年同時期と比較し5,854台減少した。

▶6月は、今年度最も販売台数が多かった月間であり、1910台を記録した。

フ首相、トライコフ経済・エネルギー・観光大臣及びカラジョバ環境・水大臣等の政府要人を表敬訪問した他、ブルガリア経済団体と意見交換を実施した。

▶経団連ミッションが当地を訪問するのは200

5年以來5年ぶり。今次ミッションは、日本・EU間で協議を進めている日・EU 経済統合（EIA）の締結への支持要請及びブルガリアとの経済関係強化の可能性の調査の目的。

▶トライコフ経済・エネルギー・観光大臣からは、政府はより一層投資環境の整備に力を入れる方針であり、所得税と法人税がともに10%と、EU加盟国の中で最も低い税率であり、かつ、カレンシーボード制のもと為替リスクが低いブルガリアは投資先として魅力があるとの説明がなされた。

#### ◆日本・ブルガリア経済委員会合同セッション

▶22日、福井会長が率いる日本ブルガリア経済委員会ミッション（25名）がソフィアに来訪し、ブルガリア・日本経済委員会（会長：トライコフ

経済・エネルギー・観光大臣）との第24回合同セッションが開催された。同セッションは昨年東京開催に続き二年連続の開催であり、ブルガリアでの実施は2005年以來、5年ぶり。

▶同セッションにおいて、日本側からは、環境・再生可能エネルギービジネス、ブルガリア進出日系企業による事例、日本からブルガリアへの観光誘致に関するプレゼンテーションが、ブルガリア側からは、ステファノフ投資庁長官による投資環境・インセンティブに関するプレゼンテーション等が行われ、約4時間にわたり活発な意見交換が行われた。

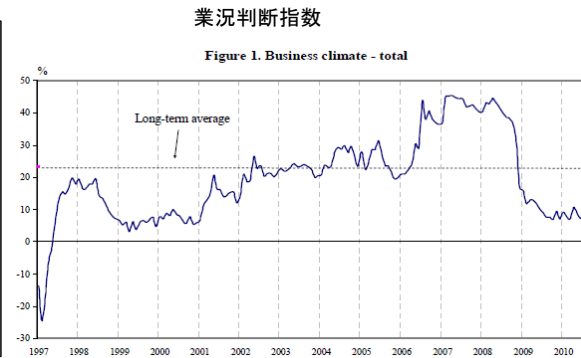
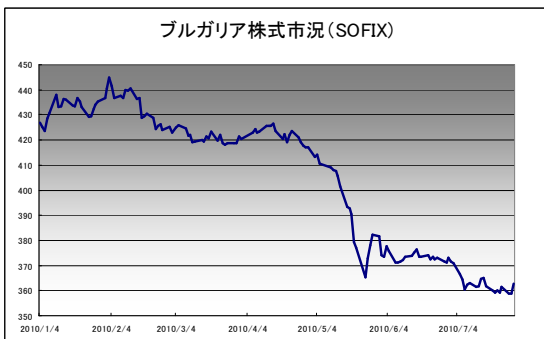
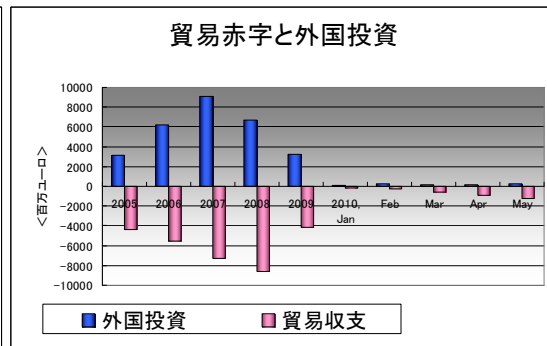
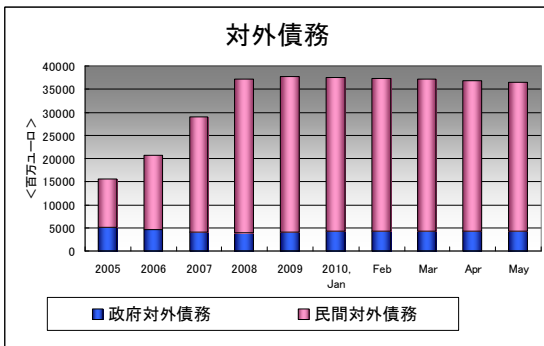
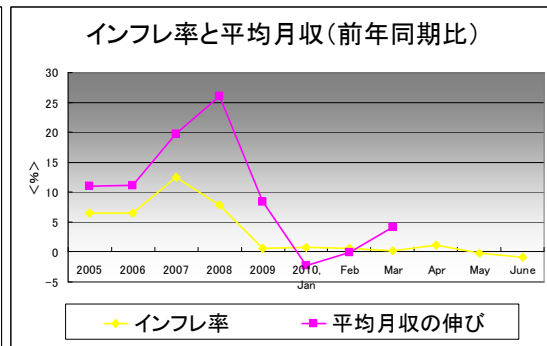
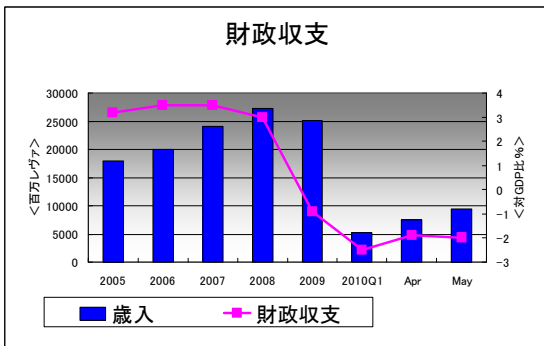
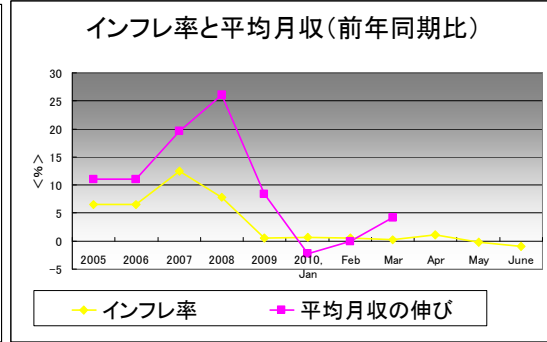
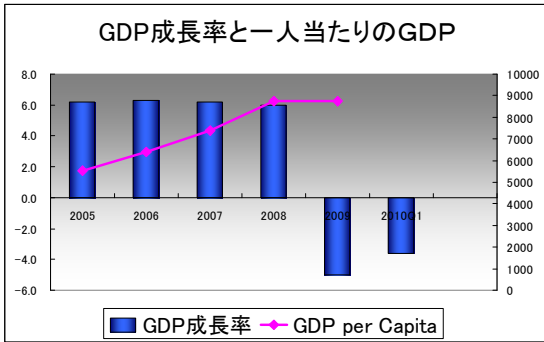
=====

## ブルガリア内政・外交の動き（7月）

### 在ブルガリア大使館

1（木）	☆パルヴァノフ大統領：アゼルバイジャン訪問（6月30日～1日）
2（金）	☆アンゲロフ国防相：米国訪問（6月28日～2日） ☆ボリスフ首相：プーチン露首相と電話会談
3（土）	●フィドソヴァ国民議会議長：大統領選及び地方選は明年10月に同日実施と発表
4（日）	
5（月）	●パルヴァノフ大統領：労働法改正案につき拒否権を発動
6（火）	☆ズプコフ露第一副首相：ブルガリア訪問 ☆グエン・シン・フン越筆頭副首相：ブルガリア訪問（～9日）
7（水）	
8（木）	
9（金）	☆ボリスフ首相：「クロアチア・サミット2010」出席（於：ドブロブニク）（～10日） ●ラチェザル・イヴァノフ国民議会副議長（与党）：副議長ポストから辞任
10（土）	
11（日）	
12（月）	
13（火）	☆アッバース・パレスチナ自治政府大統領他：ブルガリア訪問（～14日）
14（水）	●スタニシェフ社会党党首（前首相）：前政権時代の秘文書紛失で書類送検される。
15（木）	
16（金）	☆シマトコ露エネルギー相：ブルガリア訪問
17（土）	☆ツァチェヴァ国民議会議長：第三回世界議長会合出席（於：ジュネーブ）（～18日）
18（日）	
19（月）	☆ボリスフ首相：オーストリア訪問
20（火）	☆ムラデノフ外相：国際ドナー会合出席（於：カブール） ☆欧州委員会：内務司法改革プロGRESS・レポート発表
21（水）	
22（木）	○経団連ミッション：ブルガリア訪問（～24日） ○日・ブルガリア経済委員会合同セッション開催
23（金）	
24（土）	
25（日）	
26（月）	
27（火）	☆パパンドレウ希首相：ブルガリア訪問
28（水）	☆ムラデノフ外相：シリア訪問（～30日）
29（木）	
30（金）	
31（土）	

## ブルガリア経済指標（2010年7月）



出所：統計局、中銀、ソフィア証券取引所

## ブルガリア主要経済指標

### <GDP成長率と一人当たりのGDP>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2010Q1
GDP成長率 (%)	6.2	6.3	6.2	6.0	-5.0	-3.6	
GDP per Capita (BGN)	5529	6411	7379	8753	8735		

### <失業者数及び失業率>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Feb	Mar	Apr	May	June
失業者数 (千人)	397	338	256	232	338	367			380	376	369	353
失業率 (%)	10.7	9.1	6.9	6.3	9.1	9.9			10.3	10.1	10	9.5
												9.3

### <財政収支>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010Q1	Apr	May
歳入 (million BGN)	18012	20034	24063	27313	25040	5171	7493	9357.8
財政収支 (% of GDP)	3.2	3.5	3.5	3	-0.9	-2.5	-1.9	-2

### <インフレ率と平均月収>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Feb	Mar	Apr	May	June
インフレ率 (%)	6.5	6.5	12.5	7.8	0.6	0.7			0.6	0.2	1.1	-0.2
平均月収の伸び (%)	11	11.1	19.7	26.0	8.4	-2.2			-0.1	4.2		

### <対外債務>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Feb	Mar	Apr	May	
政府対外債務 (million EURO)	5198	4547	4092	3902	4159	4231			4253	4217	4247	4289
民間対外債務 (million EURO)	10309	16144	24925	33198	33547	33258			33107.0	33034	32595	32230

### <貿易赤字と外国投資>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Feb	Mar	Apr	May	
外国投資 (million EURO)	3152	6222	9052	6697	3213	63.3			209.6	131.5	184.8	253
貿易収支 (million EURO)	-4410	-5562	-7245	-8597	-4103	-176.5			-288.1	-599.6	-925.6	-1234.8
輸出 (million EURO)	9466.3	12011.9	13511.9	15203.8	11786.5	920			1921.8	3042.6	4184.1	5396.4
輸入 (million EURO)	13876.1	17574.1	20757.2	23801.1	15889.2	1096.5			2209.9	3642.2	5121.7	6631.3